

高等学校 令和 4 年度 （ 1 学年用）

教 科	： 地理歴史	科 目	： 歴史総合
単 位 数	： 2 単位		
対 象 学 年 組	： 第 1 学年		
教 科 担 当 者	： （1組：手島）（2組：手島）（3組：手島）（4組：中島）（5組：中島）（6組：中島）（7組：中島）		
使 用 教 科 書	： 『高等学校歴史総合』（第一学習社）		
教 科 の 目 標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。		

【知識及び技能】	現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめようとする技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界および日本の相互的な視点からとらえて理解することができる。また、現代社会における諸課題について、歴史的背景を視野に入れて理解することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、歴史上の概念を用いて考察し、その変化や経緯・原因などについて複数の史資料を用いながら表現することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代社会における課題の解決を視野に入れて、他者と協働して探究することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 近代化と帝国主義						
	【知識及び技能】 帝国主義政策と世界分割に関わる基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 帝国主義政策と世界分割に関わる基本的な知識を獲得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策と世界分割の特徴について、複数の史資料を用いて考察することができる。	【指導項目・内容】 ・ 18世紀の世界・日本 ・ 18世紀後半以降の国民国家の建設 ・ 19世紀以降の帝国主義政策に伴うアジア・アフリカの変容 ・ 19世紀末以降の世界分割の様相 ・ 帝国主義体制下の戦争と植民地化	【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策と世界分割の特徴について、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義政策と世界分割について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義政策と世界分割について問題意識を持ち、他者と協働して探究しその成果を示そうとしている。				
1 学 期	2 単元名 第一次世界大戦と大衆化						
	【知識及び技能】 第一次世界大戦の経過と戦争の概要・大戦後の社会について、基本的な知識を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 第一次世界大戦の経過と戦争の概要・大戦後の社会について、基本的な知識を獲得しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の開戦原因と経過、その結果について、複数の史資料を用いて考察し、表現できる。	【指導項目・内容】 ・ 帝国主義国同士の対立と強調 ・ 第一次世界大戦の開戦原因 ・ 第一次世界大戦の展開 ・ 第一次世界大戦の結果と戦後構想・国際社会の変化 ・ 大衆の政治参加と女性の社会進出	【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の開戦原因と経過、その結果について、複数の史資料を用いて考察し、表現しようとしている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の開戦原因と経過、その結果について問題意識を持ち、他者と協働して探究できる。		【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦の開戦原因と経過、その結果について問題意識を持ち、他者と協働して探究しようとしている。				
2 学 期	1 単元名 戦間期・第二次世界大戦と大衆化						
	【知識及び技能】 経済危機により国際協調システムが崩壊し第二次世界大戦へとつながっていったことを理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 経済危機により国際協調システムが崩壊し第二次世界大戦へとつながっていったことを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】 経済危機により国際協調システムが崩壊し第二次世界大戦へとつながっていったことについて、複数の史資料を用いて考察し表現できる。	【指導項目・内容】 ・ 世界恐慌とその影響 ・ ナチスの台頭・マスメディアとのかかわり ・ 日本の政治体制・対外政策の変化 ・ 第二次世界大戦の開戦原因とその展開 ・ 第二次世界大戦とその惨禍 ・ 連合国による日独占領	【思考力、判断力、表現力等】 経済危機により国際協調システムが崩壊し第二次世界大戦へとつながっていったことについて、複数の史資料を用いて考察し表現しようとしている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 国際協調システムが崩壊し二度目の世界大戦へとつながっていったことについて問題意識を持ち、他者と協働し探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 国際協調システムが崩壊し二度目の世界大戦へとつながっていったことについて問題意識を持ち、他者と協働し探究しようとしている。				
2 学 期	2 単元名 冷戦・脱植民地とグローバル化						
	【知識及び技能】 米ソ対立とアジア・アフリカ諸国の脱植民地化に関わる基本的な言葉を得ることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 米ソ対立とアジア・アフリカ諸国の脱植民地化に関わる基本的な言葉を得ようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 米ソ対立とアジア・アフリカ諸国の脱植民地化の特徴について複数の史資料を用いて考察し、表現できる。	【指導項目・内容】 ・ 米ソ冷戦の開始 ・ アジア・アフリカ諸国の脱植民地化の様相 ・ 脱植民地化による地域紛争・経済成長 ・ 1970年代までの日本とアジア諸国との関わり	【思考力、判断力、表現力等】 米ソ対立とアジア・アフリカ諸国の脱植民地化の特徴について複数の史資料を用いて考察し、表現しようとしている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 米ソ対立とアジア・アフリカ諸国の脱植民地化の特徴について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。		【学びに向かう力、人間性等】 米ソ対立とアジア・アフリカ諸国の脱植民地化の特徴について問題意識を持ち、他者と協働して探究しようとしている。				

3 学 期	1 単元名 冷戦の変容・終結とグローバル化		○	○	○	10	
	【知識及び技能】 冷戦の変容と終結がもたらした国際社会の変化の様子について、基本的な知識を獲得することができる。	【使用教材】 個人端末、プリント					【知識及び技能】 冷戦の変容と終結がもたらした国際社会の変化の様子について、基本的な知識を獲得しようとしている。
	【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の変容と終結がもたらした国際社会の変化の様子について、複数の史資料を用いて考察し、表現できる。	【指導項目・内容】 ・冷戦構造が1980年代に変化したことの要因 ・冷戦構造の終結 ・冷戦終結後の地域紛争					【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の変容と終結がもたらした国際社会の変化の様子について、複数の史資料を用いて考察し、表現しようとしている。
	【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の変容と終結がもたらした国際社会の変化の様子について問題意識を持ち、他者と協働して探究することができる。	・冷戦終結後の世界における日本の地位					【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の変容と終結がもたらした国際社会の変化の様子について問題意識を持ち、他者と協働して探究しようとしている。
3 学 期	2 単元名 現代社会における諸課題		○	○	○	6	
	【知識及び技能】 現在の社会における課題の概要を、歴史的経緯を踏まえて理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント					【知識及び技能】 現在の社会における課題の概要を、歴史的経緯を踏まえて理解しようとしている。
	【思考力、判断力、表現力等】 現在の社会における課題の概要とその起源について、歴史的史資料を用いて考察し表現できる。	【指導項目・内容】 ※本単元は生徒の問題意識に基づき、調査探究を行う。生徒					【思考力、判断力、表現力等】 現在の社会における課題の概要とその起源について、歴史的史資料を用いて考察し表現しようとしている。
	【学びに向かう力、人間性等】 現在の社会における課題の概要とその起源について問題意識を持ち、教師や他者と協働・対話しながら探究することができる。						【学びに向かう力、人間性等】 現在の社会における課題の概要とその起源について問題意識を持ち、教師や他者と協働・対話しながら探究しようとしている。